

令和7年4月1日

令和7年度
つくば秀英高等学校 経営計画

つくば秀英高等学校
校長 石川 英昭

1. 学校の現況（令和7年5月1日）

学 科	全日制 普通科					
	入学定員	320名		(単位：人)		
収容定員	960名		入学者数		311名	
教職員数	校長	本務教員	兼務教員	本務職員	兼務職員	計
	1	53	23	9	4	90
本務教員 内 訳	教頭	副教頭	教諭	講師	養護教諭	計
	1	1	45	5	1	53

2. スクール・ミッション（目指す学校像）

建学の精神（自主・博愛・創造）のもと、生徒一人ひとりの自主性を尊重し、多様で柔軟な特色ある教育活動をとおして、広く国際社会で活躍できる次代を担う人材を育成します。

*国際化が進展する社会を力強く生きていくために、アクティブ・ラーニング授業やICT教育の充実、英語力の強化などをはじめとする特色ある教育活動をとおして、新しい時代にふさわしい人間力を育みます。

3. グラデュエーション・ポリシー

（身に付ける力）

- 〈自主〉 知的好奇心をもって何にでも挑戦できる人間的な力
- 〈博愛〉 協働や対話を通じて、他者を理解し、相互に高められる力
- 〈創造〉 知識を統合しそれを実現する過程を通して、新たな視点を身につける力
- 〈英語の秀英〉 英語力とともに多様な価値観を学び、世界的な広い視野を身に付けることのできる力

（育てたい生徒像）

- ・ 高い志をもって、主体的に学びに向かう生徒
- ・ 他者を理解し課題解決に向けて協働し、自己実現を図れる生徒
- ・ 学んだことを生かし、新たな価値を創造する力を持つ生徒
- ・ 異文化を理解し、優れた国際感覚を持った生徒

4. カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成方針）

- ・ 高い進路目標に向けて学習を積み上げるプログラムを提供します。
- ・ 生徒一人ひとりのキャリア形成を行う教育プログラムを設定します。

- ・基礎学力を重視するカリキュラムをはじめ、多様なプログラムを編成します。
- ・多文化理解を深めるとともに、グローバルマインドを育てます。

(教育課程の実施方針)

- ・あらゆる場面においてコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を高めます。
- ・自ら考え、目標に向かって継続的に努力することで「確かな学力」を身に付けます。
- ・四技能を重視した実践的な英語教育を行います。

5. アドミッション・ポリシー

- ・日頃から自己管理ができ、心身ともに健康で高校生らしい学校生活を送れる生徒
- ・「わくわく」した心で、何事にも前向きにチャレンジできる生徒
- ・マナーを守り、他者に対して思いやりの心を持ち、他者と協働できる生徒
- ・知的好奇心が豊かで、学びに対して積極的なだけでなく、アクティブ・ラーニングを通し深く学ぼうとする生徒
- ・プレゼンテーションを通じて、未来への道を語り、切り拓こうとする生徒
- ・英語によるコミュニケーション力の向上に努め、資格取得を目指すなど自らを高めようとする生徒

6. 中期的目標

学びを通して自らの生き方を広げていく知的好奇心あふれる生徒を育てるとともに、国公立およびGMARCH以上の合格者50名以上を達成し、新しい形の進学校としての地位を確立する。

7. 令和7年度の重点目標

- 1) 各教科の学びに即した「目指す生徒像」を明確に示し、知的好奇心を刺激する主体的・対話的な深い学びの実践を強化する。
- 2) 安心できるクラス環境を基盤に、生徒同士の学び合いを促進し、自他を尊重できる集団づくりを推進する。
- 3) Sコースの指導体制を強化し、個別最適化された学習支援と進路指導により、国公立大学及び難関私立大学合格者数の増加を実現する。
- 4) 新カリキュラムに対応した「キャリア探究プロジェクト」を教科横断的に展開し、社会課題に主体的に向き合う力と表現力を育成する。
- 5) 「英語の秀英」の伝統を発展させ、日常的に英語を使う機会の創出と実践的コミュニケーション能力の向上に取り組む。
- 6) AIリテラシー教育を推進し、先端技術を効果的に活用しながら、人間にしかできない創造的思考力を育む。

令和7年度 つくば秀英高等学校 学校関係者評価結果表

1. 本年度の重点目標

- 1) 各教科の学びに即した「目指す生徒像」を明確に示し、知的好奇心を刺激する主体的・対話的な深い学びの実践を強化する。
- 2) 安心できるクラス環境を基盤に、生徒同士の学び合いを促進し、自他を尊重できる集団づくりを推進する。
- 3) Sコースの指導体制を強化し、個別最適化された学習支援と進路指導により、国公立大学および難関私立大学合格者数の増加を実現する。
- 4) 新カリキュラムに対応した「キャリア探究プロジェクト」を教科横断的に展開し、社会課題に主体的に向き合う力と表現力を育成する。
- 5) 「英語の秀英」の伝統を発展させ、日常的に英語を使う機会の創出と実践的コミュニケーション能力の向上に取り組む。
- 6) AIリテラシー教育を推進し、先端技術を効果的に活用しながら、人間にしかできない創造的思考力を育む。

2. 自己評価の結果に対する学校関係者評価

(令和8年3月25日)

校務分掌	重点目標	自己評価	学校関係者評価※
教務部	教務	アクティブラーニングの推進 業務の効率化と教育の質の維持	4.0
	ICT	教職員の連絡手段	4.0
		各分掌との連携	
	第1学年	AI・情報リテラシー教育	3.8
		学力の向上	
		学園生活の充実	
		進路の具体化	
	第2学年	保護者との連携	4.3
		学力の向上	
		学園生活の充実	
		進路の具体化	
	第3学年	保護者との連携	4.8
		学力の向上	
		学園生活の充実	
		進路実現	
	国語科	保護者との連携	4.8
		共通テストの分析、模試対策の充実	
		思考・論述力の強化	
		多角的視野の育成	
	地歴・公民科	ICTを活用したアクティブ・ラーニング授業、ブレ	3.3
主体性・自主性の育成			
数学科	社会人としての資質向上	4.3	
	教員研修の充実		
理科	問題解決能力の育成	4.5	
	学力の向上		
英語科	基礎学力の定着	4.0	
	学力の向上(1)		
保健体育	学力の向上(2)	5.0	
	学力の向上		
芸術科	英検取得率の向上	5.0	
	英語学習環境の形成		
情報科	心身の健康を保持増進する知識を主体的に学び、実践	4.3	
	感性を磨き、豊かな心の育成		
家庭科	共通テストに向けた演習の充実	3.5	
	プログラミング教育の充実		
	情報社会に参画する態度の育成		
	自立に向けた授業の工夫		
	持続可能な社会を考える力を育てる		

校務分掌	重点目標	自己評価	学校関係者評価※
入試・進路統括	入試	定員の充足 PR戦略の強化 体験会・説明会の充実	4.3
	進路	生徒・保護者の進路意識の向上	5
		進路指導(大学入試・専門学校・就職)への支援	
	Sコース	大学進学率80%を目指して	4.5
		学習活動の支援	
	T選抜コース	学力向上を図り、国公立および難関私立の合格数50	3.7
		モチベーションの向上	
Tコース	改革	4.0	
	レベルアップ		
生徒指導	生活指導・いじめ対策室	進研模試の十分な運用	3.7
		放課後自習室	
	保健環境・カウンセリング係	基礎学力・家庭学習の定着	4.5
		進研模試の十分な運用	
	特別活動係	放課後自習室	5.0
		いじめを生まない環境づくり	
	PTA係	SNS上での人間関係のトラブル対応	5
制服着こなし、登下校中の自転車の乗り方			
サポートルー	心身の悩みとフォローアップ	4	
	校舎内外の環境整備の徹底		
	PDCAサイクルの確立		
	主体性・自主性に基づいた計画的な行事運営		
	新たなPTA組織が円滑に運営され、学校と家庭が協力		
	転学者の減少。		

※本校の教育活動に関する意見交換により得られた自己評価の結果等についての評価である。

評価基準

- 5：十分適正である 4：適正である 3：概ね適正である
2：やや適正に欠ける 1：適正でない

令和7年度 つくば秀英高等学校 第三者評価結果表

令和8年3月25日

*この表は自己評価結果や学校関係者評価の実施状況を踏まえて、本校の学校運営の状況について評価したものである。

評価事項		評価	
1	本校の教育理念の実践について	⑤:十分適正である 4:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない	
2	当年度の教育目標に対する 取り組みとその成果について	教務・ICT	⑤:十分適正である 4:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない
		学年	5:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない
		教科	5:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない
		入試進路	5:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない
		コース	5:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない
		生徒指導	5:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない
3	当年度の課題と今後の方策について	⑤:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない	
4	教育改革及び働き方改革について	5:十分適正である ④:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない	
5	組織運営について	⑤:十分適正である 4:適正である 3:概ね適正である 2:やや適正に欠ける 1:適正でない	

(評価者の意見等)

あらたに中期目標を設定したと聞いている。秀英に求められる世界で通用する人格の育成を目指して、奮闘してもらいたい。

また、積極的な教育改革を行うとともに、本学の理念に基づく教育環境を整えるためにも、教育の質の向上に尽力し、教員の働き方についても一層の改革を推進し、生徒の学校生活の満足度の向上、ひいてはブランド力の向上につながることを期待します。

万博記念公園駅前イノベーション実行委員会 委員長 根本 行雄

